

次期3か年計画の内容

1. 名称 「JA静岡市3か年計画～ともに拓こう、協同が輝く時代」
2. 実施年度 平成29年度～31年度
3. 基本目標・重点目標・施策

基本目標1 組合員の農業所得の向上に取り組みます

重点目標1 生産者組織を通じて組合員の農業経営の安定と販売の強化を図ります

- 1 生産部会の機能発揮による農業経営力の向上
- 2 農業融資を活用した経営改善支援
- 3 面的農地集積による優良農地の有効活用
- 4 販売力の強化による生産量の拡大
- 5 じまん市の販売強化
- 6 生産資材のコスト削減
- 7 農作業の軽減と効率化

重点目標2 担い手と新規就農者を育成支援します

- 1 担い手の育成支援
- 2 新規就農者の育成支援
- 3 期待に応える営農指導の強化

基本目標2 暮らしの豊かさの実現に貢献します

重点目標3 総合事業を暮らしに役立てます

- 1 財産と農業を次代へつなぐ相続相談の強化
- 2 地域の期待に応える事業の展開
 - (1) 利用者のニーズに応える金融サービスの提供・地域貢献
 - (2) 利用者への最良のサービスと安心信頼の保障提供
 - (3) じまん市利用者に対する総合的な事業・サービスの提供

基本目標3 JAの健全な経営及び運営に取り組みます

重点目標4 組合員の意見反映と仲間づくりを進めます

- 1 JA運営への意見・要望の反映
 - (1) 組合員の意見を活かした運営
- 2 協同活動に共感する仲間づくり
 - (1) 青壮年部、女性部活動の活性化
 - (2) 准組合員の農業やJAに対する理解促進
 - (3) 次代を担う協同組合人の育成
- 3 協同活動を担う人づくり
 - (1) 協同組合教育を通じた職員の育成
- 4 広報活動によるJAの理解促進

重点目標5 JA経営の健全性確保に努めます

- 1 安定したJA経営の確保
- 2 新たな執行体制の構築

施策ごとの取り組み概要

基本目標 1 組合員の農業所得の向上に取り組みます

重点目標 1 生産者組織を通じて組合員の農業経営の安定と販売の強化を図ります

1 生産部会の機能発揮による農業経営力の向上

①組合員の所得向上への取り組みとして、生産部会の強化、部会員の農業経営力の向上を図り、農業振興を行います。

生産部会の強化に当たっては、部会員と部会の現状を分析・確認し、部会員同士やJ Aと生産部会との話し合いを基本に将来に向けた計画の策定と実践に取り組みます。

②静岡茶ブランド化への取り組みとして全国茶品評会への参加と新たに被覆茶（碾茶）への取り組みを拡大し、海外輸出への対応をするため営農経済部・販売部が連携し、管内茶生産者の経営安定を目指します。

2 農業融資を活用した経営改善支援

地域の農業を支える担い手及び農業法人等に対して、J Aの営農部門と金融部門が連携して農業経営の指導と農業融資相談を同時に行い、農業メインバンクとしての機能を発揮します。

3 面的農地集積による優良農地の有効活用

将来にわたり維持すべき管内の優良農地を明確化し、地域の担い手に集積します。小規模基盤整備事業を行政と連携し、計画的に再生可能な耕作放棄地を解消し優良農地を確保します。

4 販売力の強化による生産量の拡大

①販売部門と営農指導部門が連携を強化し、生産指導及び販売の一体的な取り組みを実現することで、継続的な農産物の安定生産と有利販売に繋がります。また、産地生産体制を整備することで、販売先の多様な需要に対して十分な対応力を発揮し、責任産地としての使命を果たします。

②花卉センターでは、農家組合員に対してのコンシェルジュ機能を強化するため、営農指導を核とした生産・販売の一体的な取り組みによる販売強化を図り、農業経営の維持・向上を果たします。

※コンシェルジュ機能とは…生産から販売まで農家組合員をトータルサポートする職員

③静岡茶(本山茶)の品質の良さ(産地賞)を前面に出した商品販売およびライフスタイルに合わせた商品開発と販売強化(粉末・T B・フレーバーティ等)による売上増加で組合員からの仕入数量・金額を向上します。

5 じまん市の販売強化

出荷者の高齢化が進む中で、新規出荷者の育成と地域別の集荷、端境期の販売対策としてリレー栽培を推進することで、品揃えの安定と強化を行い、所得の向上を図ります。お客様に購入しやすく、出荷者に出荷しやすい店舗づくりを行い、販売拡大に努めます。

6 生産資材のコスト削減

農業所得向上に向け、購買品の取り扱い品目集約と予約率向上・予約定着化を図り生産資材価格の引き下げを行います。

7 農作業の軽減と効率化

農作業の軽減と効率化をするために農作業委託事業に取り組みます。

重点目標 2 担い手と新規就農者を育成支援します

1 担い手の育成支援

農業後継者塾を開設し担い手と新規就農者の育成を図り、生産部会の強化および地域農業の産地維持に取り組みます。また、行政と連携し認定農業者・担い手農業者との関係を強化することで JA との信頼関係を構築します。

2 新規就農者の育成支援

新規就農を促進するために、営農講座の定期開催や指導員による巡回と面談、経営資源に対する支援事業を行います。また、生産部会との連携により新規就農者へ技術の指導をします。

3 期待に応える営農指導の強化

営農指導員のレベルアップを図るために、JA 生産部会や地域の高い技術を持った生産者と連携し、組合員、生産者との情報・技術共有を図り地域組合員の期待に応えます。

基本目標 2 ぐらしの豊かさの実現に貢献します

重点目標 3 総合事業をぐらしに役立てます

1 財産と農業を次代へつなぐ相続相談の強化

組合員のみなさんが相続発生時に困ることのないよう、事前相談から始まる相続相談体制づくりに取り組みます。そのために、JA の支店窓口から本店統括部署まで、しっかりと連携した事業横断的な体制を構築しサポートします。

2 地域の期待に応える事業の展開

(1) 利用者のニーズに応える金融サービスの提供・地域貢献

JA らしい「農」や「食」を中心とした付加価値のある金融商品や、組合員・利用者のライフイベント（進学、就職、結婚、出産、子育て、

退職、セカンドライフ、相続等) やニーズ (お金を預ける・借りる、資産を運用する) に対応したサービスの提供や情報発信を積極的に行うことにより豊かなくらしの実現をサポートします。

(2)利用者への最良のサービスと安心信頼の保障提供

- ① J Aらしい地域密着の事業展開を活かして、アンケート調査をともなう普及推進活動 (3 Q訪問活動) を定着させます。また、環境に対応した推進体制の再構築を図ることにより、組合員・利用者に「ひと」「いえ」「くるま」の保障を提供します。
- ② 万一の共済金の早期支払いと加入手続きがスムーズに進むなどのサービスを提供するため、事務の簡素化に取り組みます。また、担当者の事務レベルの向上に努め、組合員・利用者の利便性及び満足度の向上に取り組みます。
- ③ 組合員・利用者が満足して頂ける対応を目指して、保障内容の見直し (グレードアップ) を勧めて特約付保割合向上に取り組みます。また、事故受付や事務処理について共済担当者・補助者の育成強化及び知識向上を図ります。

(3)じまん市利用者に対する総合的な事業・サービスの提供

じまん市をご利用いただいているお客様に対し、J Aの事業を幅広く利用することにより、メリットを実感していただける取り組みを実施します。